

## “レッツ・トライ”「可燃ごみ10%減量化大作戦」の結果！！

### 【目標：一人1日あたりの可燃ごみ量638.4gへの達成】

5月の「可燃ごみ10%減量化大作戦」の結果は下表のとおりです。目標（638.4g）から+146.6グラムの増加となりました。

昨年の6月分から、その月の可燃ごみ量（総量）を人口と日数で割り、一人1日あたりのごみ量として、表とグラフで住民みなさんへお知らせするとともに、可燃ごみ減量化のお願いをしてきました。

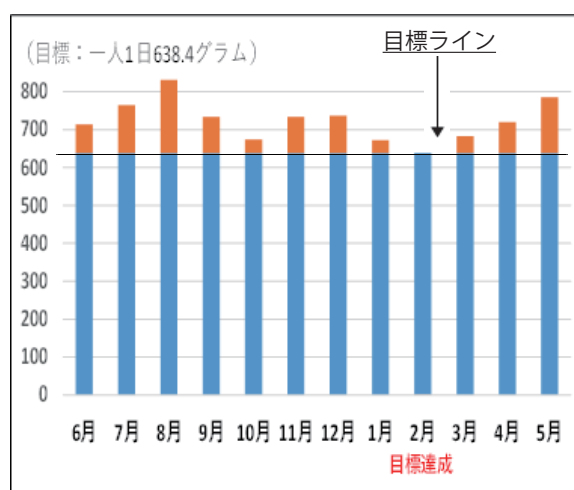
計算の基礎となります可燃ごみ量（総量）は、町内から発生したすべての可燃ごみとなります。この中には、観光客などから発生する量も含まれます。ごみはすべて西秋川衛生組合で計量しますが、一般家庭ごみ、観光ごみのように内容別に分けることは出来ません。5月の連休には、新型コロナウイルスによる外出規制が緩和されたことなどから、他の観光地と同様奥多摩町への訪問者も増えたことなども重なり、一人1日あたりのごみ量が大きく増加したと考えられます。

計算方法による一人1日あたりのごみ量の増減も考えられますが、今後も可燃ごみの減量化を意識していただくことで、家計に占めるごみ処理費用（袋代）の軽減、また、町が組合へ支払う負担金の軽減にもつながります。

住民みなさんには、1年間をとおして“レッツ・トライ”「可燃ごみ10%減量化大作戦」と題し、可燃ごみの減量化へのご協力、大変ありがとうございました。また、今後も引き続き減量化をお願いします。

ここでこの結果報告は一旦終了させていただき、1年間で得られましたデータを他の自治体などと比較しながら解析します。

月	1人1日あたりの可燃ごみ量（結果）（グラム）	目標との差（グラム）
7月分	763.8	+125.4
8月分	831.3	+192.9
9月分	733.0	+94.6
10月分	673.8	+35.4
11月分	733.8	+95.4
12月分	736.2	+97.8
1月分	671.7	+33.3
2月分	603.9	-34.5
3月分	682.4	+44.0
4月分	720.1	+81.7
5月分	785.0	+146.6



### — “ごみを減らす10アクション” (3R：スリーアールへの取組) —

5月号から新たに開始しました“ごみを減らす10アクション”も3回目となります。1、2回目はリデュース（ごみの発生、資源の消費をもとから減らす）の取組について紹介しましたが、3回目は、リユース（繰り返し使う）についてです。みなさんの中にも、リサイクルショップで品物の売り買いをした経験のある方もいると思います。リユースとは、リサイクルと違いその製品を繰り返し使うことです。リサイクル以上にごみの減量と環境負荷のかからない取組です。不用になったものを“ごみ”にする前に、一度リユースができないか考えてみてください。限りある資源を大切に使いましょう。

※問い合わせは、環境整備課（クリーンセンター） ☎83-2110